

サーチライト With Pastor Jon 創世記 13 章 パート 1 「真実を語る」

1998. 01. 14

創世記 13 章

前回は、残念なことに、アブラムが悲しいほどに揺れ動き、失敗したところで終わりました。

今回、13 章では、彼が再び立ち上がります。

エジプトでの惨劇の後、

1 そこで、アブラムはエジプトを出て、ネゲブに上った。

アブラムとは、アブラハムのことと同一人物。後に、名前がアブラムからアブラハムに変わります。

前回、彼はエジプトに下りましたが、今回はエジプトから上りました。ここ、いいですねえ。

再び立ち上がって、上って行った。

失敗しても賢い人物。

この章では、彼が、実際、知恵ある人だということを見ていきます。

彼は、故郷であるカルデア人のウルから召された時に救われて、救われた者として、エジプトに下って行きました。

そして、彼は“信仰の人”として、エジプトから戻って来ます。

彼の中で成熟さが育ったのです。

これがいつもカギです。

私たちが失敗した時、私たちは失敗するものですが、カギとなるのは、再び立ち上がる時に何かをつかみ取る

こと。

失敗したら、何かをつかむ。

それが学びで、賢くなる。経験からの学び。

それが、アブラムにはありました。

アブラムもつまずき、揺らぎましたが、その失敗から、確かに知恵をつかみ取ったので、エジプトを出てネゲブに上ったのです。

1 妻と、所有するすべてのものと、ロトも一緒にあった。

2 アブラムは家畜と銀と金を非常に豊かに持っていた。

3 彼はネゲブからベテルまで旅を続けて、ベテルとアイの間にある、最初に天幕を張った場所まで来た。

4 そこは、彼が以前に築いた祭壇の場所であった。アブラムはそこで主の御名を呼び求めた。

彼は立ち上がって出て行き、最初に祭壇を築いた場所へ行って、主の御名で祈りました。

そこは、ベテルとアイの間にある場所。

ベテルは神の家という意味、アイの意味は山、ゴミの山と言ってもいいでしょう。

彼は、その間に天幕を張りました。

この描写は、あなたと私にも当てはまると思います。

私たちがゴミの山のこの世から離れ、天国と呼ばれる神の家に向かっているからです。

私たちは一切、罪と関わりを持たない。

以前、私たちが縛っていたものにも、もう、とらわれません。

ゴミの山を去って、最終目的地の天国、神の家へと向かっています。

さてここは、彼が最初に天幕を張った場所、初めて祭壇を築いた場所です。

アブラハムの生涯を学んでいる人は、次のことを理解しておいて下さい。

彼はエジプトにいた間、エジプト内で天幕を張ったということも、祭壇を築いたということも記述されていません。

天幕を張るというのは、「我々はここに属する者ではなく、寄留者であり、心を天に向けて、天国に進んでいる者だ」ということを示します。

祭壇は礼拝の象徴です。

真に情熱をもって、献身的に礼拝する。

ここではアブラムが、かつていた場所に再び天幕を張り、祭壇で祈ります。素晴らしい。

これが本当のカギです。しっかり聞いて下さい。

あなたがエジプトに下ってしまった時、しくじって揺らいでいる時、すべきことを行っていないと自分で分かっている時、あなたは何をしますか？

イエスは、黙示録 2 章で、エペソに住むクリスチャンたち、エペソの教会に言っています。

どこから落ちたのかを思い起こし、(黙示録 2:5)

「わたしと共に過ごした頃を思い出さない！」「あなたが天幕を張った頃を思い出さない！」

「祭壇に行った時を思い出さない！」

主はエペソの信者たちに言われます。

「以前はどうだったかを思い出さない」

そして、「悔い改めなさい。」これは、方向を変えること。

悔い改めて初めの行ないをしなさい。(黙示録 2:5)

これがカギです。

思い出す、悔い改める、もう一度行う。

「アブラムが今回の話の中で行うように、最初にしていたように行いなさい。」

彼は全てが始まった、かつていた場所に戻りました。

ベテルとアイの間にある、最初に天幕を張った場所まで来た。

そこは、彼が以前に築いた祭壇の場所であった。(創世記 13:3-4)

霊的に燃えない時、冷めてきた、生ぬるくなってきたと気づいた時、どうすればいいのか。

以前はどうだったかを思い出す。

そして、以前していたのと同じ事を行う。

早朝のデボーションを楽しんでいたのならそれを。

金曜夜、教会に来てワーシップに参加していたかもしれない。

御言葉を暗記していたかもしれない。

積極的に信仰を証していたかもしれない。

あなたは何をしていましたか？

燃えていた時、順調にいていた時、あなたは何をしていましたか？

それをもう一度行うのです。

「そんな気になれない。」「証しようなんて思わない。」「早起きしてデボーションしようなんて思わない。」

「金曜日の夜に教会に来たいとも思わない。」

関係ありません。

やりたいと思わなくても、初めに戻って、行っていた事をするのです。

何も感情が湧いて来なくても、とにかく実行する。

そうすることを選択する。

「以前、燃えていた時にはこれをしていた。今はそんな気にはなれないけど、それでも、とにかくやるんだ。」

すると、どうなるか。

イエスは言いました。**「あなたの宝のあるところ、そこにあなたの心もあるのです。」(マタイ 6:21)**

そんな気分であろうがなかろうが、とにかくやる。

あなたのエネルギー、あなたの宝を、賛美やデボーションに注ぐなら、気がつけばいつの間にか、心が付いて来ている。

これが、アブラムが行っていること。

彼は戻って、初めの行ないを再び行いました。素晴らしい。

さて、話はこれからです。

5 アブラムと一緒に来たロトも、羊の群れや牛の群れ、天幕を所有していた。

ロトはアブラムの兄弟の息子で、アブラムの甥。

6 その地は、彼らと一緒に住むのに十分ではなかった。

所有するものが多すぎて、一緒に住めなかったのである。

7 そのため、争いが、アブラムの家畜の牧者たちと、ロトの家畜の牧者たちの間に起こった。

そのころ、その地にはカナン人とペリジ人が住んでいた。

8 アブラムはロトに言った。「私とあなたの間、また私の牧者たちとあなたの牧者たちの間に、争いがないようにしよう。私たちは親類同士なのだから。」

9 全地はあなたの前にあるではないか。私から別れて行ってくれないか。

あなたが左なら、私は右に行こう。あなたが右なら、私は左に行こう。」

10 ロトが目を上げてヨルダンの低地全体を見渡すと、主がソドムとゴモラを滅ぼされる前であったので、その地はツォアルに至るまで、主の園のように、またエジプトの地のように、どこもよく潤っていた。

11 ロトは、自分のためにヨルダンの低地全体を選んだ。そしてロトは東へ移動した。

こうして彼らは互いに別れた。

12 アブラムはカナンの地に住んだ。一方、ロトは低地の町々に住み、ソドムに天幕を移した。

13 ところが、ソドムの人々は邪悪で、主に対して甚だしく罪深い者たちであった。

ここで、アブラムと甥のロトは別れました。

アブラムはカナンに住み、ロトは緑で潤った場所、甚だしい罪人が住んでいるソドムに住みます。

もしノートを取っているなら、幾つか書き留めるべきことがあります。

アブラムの知恵に関して、3つ書き留めて下さい。

アブラムの知恵とロトの弱さを対比させて見ていきましょう。

まずは、アブラムの知恵に注目。

エジプトから出て来た彼は、どうなっていましたか。

彼は知恵ある者になっており、実にその賢明さを発揮しました。

第1に霊的な率直さ。霊的率直。

アブラムは、問題にまっすぐに向かい、対処しました。

遠回しに言わず、あやふやな言い方もせず、遠慮もしなかった。

彼は甥のロトの所に行行って言いました。

「問題がある。」「私の牧者たちとあなたの牧者たちの間に争いがあるが、それは良くない。」

なぜなら、**7 その地にはカナン人とペリジ人が住んでいた。**

「あなたの牧者と私の牧者がぶつかり合い、争い、ケンカしているのを、カナン人とペリジ人、異教徒たちが見ている。それはまずい。あってはならないことだ。我々は見られている。」

問題に真っ向から向き合い、対処しています。

「ロト、このままではいけない。異教徒が見ているから。」

二人のクリスチャン女性が同じ事務所で働いていました。

そこには窓が一つしかなくて、二人はいつも言い争い。

一人は窓を閉めて欲しくて、何度も言いました。「窓を閉めて！ 肺炎になって死んでしまうわ！」
もう一人は新鮮な空気が必要で、「窓がずっと開いてないと、窒息死してしまうわ！」といつもケンカ。
遂にある日、廊下の向かいで働く別の女性が来て言いました。

「あなた、彼女が肺炎で死ぬまで、窓を開けておけばいいじゃない。そしてあなたは、彼女が窒息死するまで、窓を閉めておけばいいのよ。そうすれば、私はここで穏やかに過ごせるわ！」

そう言って、争いを静めました。

残念なことですが、こういった事はしょっちゅう起こっています。

クリスチャン同士が争い、非難し合う。

それを見ていて、世は、カナン人は、ペリジ人は不思議に思い、言っています。

「えっ!? これが、キリスト教?」「この言い争い、ののしり合いが?」

これはあつてはならないことです。

アブラムは、実に直接的に対処しました。そうあるべきです。

私も火曜日にすごい体験をしましたよ。

その日、グランツパスのデニーズ・レストランでいくつかのミーティングが予定されていて、会議と会議の間に 20 分の休憩がありました。

私は自分の持ち物や新聞など全てをテーブルに置いて、次の会議まで、そこに座って休憩しようと思っていたのです。

ところが、自分でも説明できない行動に出ていました。

私は立ち上がってレストランを出て、車まで行き、乗り込んで、南に下り、左に曲がり、反対側へ行き、デニーズから道を挟んだレストランに行ったのです。

店の名前はバーガーキング。

そして駐車場に車を入れ…デニーズで次の人と会うまで、20 分しか、18 分ほどしかないんですよ。

どうしてそんなことをしたのか、自分でも分かりません。

そこに住んで 20 年ですが、そのバーガーキングに行ったのは、10 年ほど前の、たったの一回だけ。

私はバーガーキング派ではないので、すぐ隣にあるマクドナルドなら話は分かります。

デニーズのすぐ隣にマクドナルドがあるのです。それなら驚きもしません。

だけど、わざわざ車に乗って、1 ブロック先のバーガーキング。

実際にそこに入りながら、「ここで何をしてるんだ? なんで、バーガーキングにいるんだ?」

そして、コーヒーを一杯だけ注文。

それを持って、後ろの方に座りましたが、お客さんは他に誰もいなくて、私はただ座っていました。

時間は 10 時半から 10 時 45 分くらい。

そしたら、5 分ほどして女性が入って来て、コーヒーを注文して座りました。

見ていると、彼女は泣いていて、悩んでいるようでした。

すると、立ち上がって、私が座っている所にまっすぐ来て、「ジョン先生…」と言うのです。

だから私は「はい?」と言うと、彼女が「ここで何をしていますのですか?」

「自分でも分からなくて、考えているところなんです。」

そして彼女に「話してみませんか。」と言いました。

彼女は「これは奇跡だわ。」「私と夫との間で、主は驚くべき素晴らしいことをして下さいました。

でもね、私は彼、愛人に電話して、もう一度だけ会おうとしていたところなんです。で、途中でここに寄ってコーヒーを買おうと思ったら、先生がここに座っているのが見えたんです。」

そして彼女は尋ねました。「こんなことが起こる確率はどれくらいなのでしょう?」

そこで私は「あなたが想像するより、ずっと低い。」

「神は、あなたにこれを伝えるという、ただ 1 つの目的のために、私をここに来させました。」

今日、主はあなたをととても愛していて、深く心配し、このマクドナルド派の人間をバーガーキングに来させたのです。ただ、あなたと話をするために。私は、さっぱりわけが分からなかったんだけど、今は分かります。あなたに、『今日しようとしていた事をしてはいけない』と言うためだったのですよ。」
女性は「その通りです。」と言って泣き、その場で約束してくれました。
「今後一切、彼とは話さない。電話もしない。関わらない。」
そして、車に乗って、夫の元に戻って行き、私もバーガーキングを出て、デニーズに戻りました。

あれには、本当にビックリしましたよ。

言っておきますが、私にとっては、奇跡のような、謎のような、まるで使徒の働きでピリポが荒野に送られた時のようで。

あれも、バーガーキングみたいな出来事ですよ。たった一人に会うために。

皆さんの多くが知っている通り、ピリポは、エチオピアの高官に御言葉を伝えるためにそこに送られ、それからピュッと取り去られて、元の場所に戻されました。

つまり言いたいのは、神は 18 分や 19 分ほどの機会を用いて、人の問題に直接対応されるということ。

これは重要です。

私は自慢げに、高ぶって言っているのではありません。

話さなければならない真実を話しているのです。

自分が好かれたり、人気があることよりも、真実を語るべきであることが、私にはずっと重要だから。

もし、人からどう思われるかを気にしているなら、私は自己中心です。

その人たちのことを思っていないことになるから。

相手を思うということは、ここでのヒーロー、アブラムのようになるということ、ハッキリ伝えるということなのです。

つづく

哀歌 3 章

40 自分たちの道を尋ね調べて、主のみもとに立ち返ろう。

41 自分たちの心を、両手とともに、天におられる神に向けて上げよう。

「今日、もし御声を聞くなら、あなたがたの心を頑なにしてはならない。」ヘブル 4:7

メッセージ by ジョン・コーソン牧師 アップルゲート クリスチャン フェローシップ

<http://joncourson.com/>

7590 Highway 238 Jacksonville, OR 97530

訳 by 木下言波

DivineUS : <https://www.youtube.com/user/TheDivineUs>

筆記 by Rumi

※インターネットのメッセージを文章化するこの働きを始めた姉妹が、目の治療をされました。

どうか、りよくさんの病後の弱さを覚えて、お祈りください。